News of The Japanese Weekend School of New York

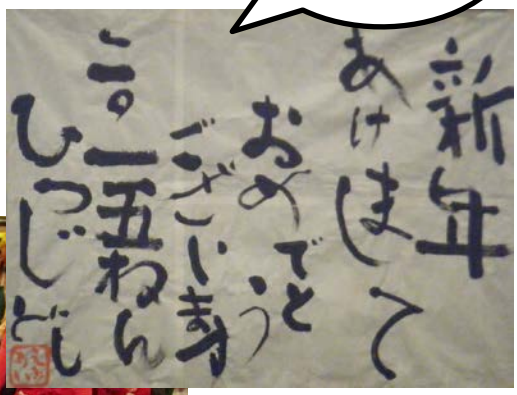
BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle, NY 10801
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成 26 年 1 月 16 日　No.19
発行責任者：校長　櫻井郁男

担任の喜び

本校の教員指導の一つとして、授業後には「指導報告」を義務付け、派遣教員(校長・教頭)が目を通し適宜アドバイスを重ねております。各担任からの報告には、指導に関する質問や、保護者の皆様との意見交換の様子など私たちが見落とすような報告があり、学校全体の教育の質の向上に役立てることができます。

今回はその中でも「なるほど」と感じたこと、思わずにっこりしたことなどを紹介させていただきます。



作文コンクール前後に

ある先生は、年間を通して段階を追ってテーマや、つづり方のアドバイスを心掛けているそうです。





「運動会の作文を書きましょう」というような「宿題の出し方は指導とはいえない」との考え方です。題名だけを指示した宿題を出すと、朝起きて、運動会に行って、校長先生の話を聞いて・・・かけっこで○等賞になって△△かったです。そして××組が優勝しました。と、出来事を順につづっただけの作文になります。たまにテルテル坊主が出てきて心が和みますが、心の動きや情景を書き込みましょうとか、表現の工夫しましょうと指導することにしています。との報告がありました。(大きな行事を綴った作文はコンクール作品としては競争率が高いようです。)

授業の様子報告

教材にある、すみれちゃんとかりんちゃんの会話を音声表現させてみた。妹のかりんちゃんが、すみれちゃんのノートにいたずら書きをしてしまい、すみれちゃんは怒りたいような泣きたいような気持になるのだが、まだ５歳のかりんちゃんには悪いことをしたという気など全くないという場面。そのかりんちゃんの台詞を読んだ子の、５歳の子の無邪気な言い方があまりにも上手で、子供たちと一緒に大爆笑。

子供たちの笑いが収まったその１拍後、またまたおかしさがこみあげてきて、今度は担任一人で大笑いをしてしまった。私の大笑いに子供たちがまた笑い出し・・・。こんなに楽しい仕事が「先生」のほかにあるだろうか。(将来はバイリンガルの声優さんかな・・・校長)

宿題をものともせず

子供たちと**「ちっとも…ない」**を使った短文の作り合いをしているときに「補習校は宿題がたくさん出るから、ちっとも好きではない。」と例文を出すと、直ちに「補習校、大好き」との反論が沸き上がった。(これで安心して宿題を出すことができますね・・・でも、　適切に・・・校長)

次号では、手ごたえのある指導報告を紹介させていただきます。